

プール

- 原則として全校に設置する
- 1校あたり25m×12m(6コース)程度とする
- 校地の条件により、学校外施設の活用、複数校での共同利用および地域住民との共同利用(複合化*・多機能化*)を検討する
- 屋外プールは、近隣や他教室に対する騒音および外部からの視線に考慮し、配置する

学校プールの現状

	学校数	メリット	デメリット
外平置	7	イニシャルコスト低	校地が必要 天候の影響あり 水質管理の負担
外屋上	9	校地が不要	躯体*への負荷大 天候の影響大(日照、風の強さ) 水質管理の負担
屋内 ※	1	5か月程度利用可 天候の影響なし	可動屋根の管理負担 床面積への算入必要
温水	1	通年利用可 天候の影響なし	イニシャル・ランニングコスト高 床面積への算入必要

※ 可動屋根、温水ではない